

開館1周年記念企画展示「わたしの一冊」

紹介者・紹介資料リスト

1 宇田 清 氏（うだ きよし）

ロッドビルダー（竿づくり）

1947年神奈川県平塚市生まれ。日大藤沢卒業後、宇田製作所に勤務。日本ブッシュ（株）入社。1993年、岩手県紫波町に移住。カムパネラ設立、現在に至る。

『 岩手は今日も釣り日和 』 村田 久 /著 小学館

2 木戸 良平 氏（きど りょうへい）

船箆職人

1961年水戸市生まれ。少年時代を東京、宇都宮、大阪で過ごし、国際基督教大学卒業後岩手県に。新聞記者として4年間勤めた後、1988年木工の道に入る。古家具修理を通して木工、金具製作、家具塗装の伝統技法を独習。1992年紫波町山屋に「箆工房はこや」を開設。妻・章子（あきこ）とともに船箆の再現に取り組むほか、桐の正座椅子、桐のあぐら椅子、栓のスツール、木挽きチェストなどの定番作品も手がけている。

2男1女の父。

『 Make a Chair from a Tree 』 John D. Alexander Jr. /著 Astragal Press

3 八重樫 茂 氏（やえがし しげる）

建具職人

八重樫建具店3代目。父の生まれ年の大正2年を創業と数え100年以上続く。戸、欄干、衝立、襖などあしらわれる細工などの伝統的な建具の技を現代に伝える。

『 邂逅の森 』 熊谷 達也 /著 文芸春秋

4 小田中 耕一 氏（おだなか こういち）

型染職人 小田中染工場

1950年紫波町生まれ。1968年、盛岡工業高等学校卒業。芹沢染紙研究所入所。1978年、帰郷。家業紺屋の傍ら、型染めの研究創作を始め、現在に至る。

『 吉里吉里人 』 井上 ひさし /著 新潮社

5 佐藤 元 氏（さとう げん）

吾妻嶺酒造店13代目蔵元

紫波町生まれ、42歳。東京農業大学醸造科卒。

実家の造り酒屋「吾妻嶺酒造店」を継ぐ為に大学卒業後帰郷。「岩手らしい酒」造りをテーマに蔵元として経営と酒造りを行っている。

『 田宮模型の仕事 ～木製モデルからミニ四駆まで 』 田宮 俊作 /著 ネスコ

6 廣田 英俊 氏（ひろた ひでとし）

廣田酒造店 5 代目蔵元

1967 年紫波町生まれ。盛岡第四高等学校卒業後、東京農業大学短期大学部醸造科に入学。卒業後、廣田酒造店の 5 代目蔵元として後を継ぐ。

現在女性南部杜氏第 1 号の小野杜氏と共に、純米酒を中心とした酒造りに励んでいる。

『 今日が残りの人生最初の日 』 須藤 元気 / 著 講談社

7 高橋 良司 氏（たかはし りょうじ）

高橋酒造店 4 代目蔵元

紫波町生まれ。1968 年盛岡商業高等学校卒業後、東京で他の職種を経験し、1974 年に家業を継ぐ為に帰郷。自家米を主原料とした酒造りを行っている。

『 永遠の 0（ゼロ） 』 百田 尚樹 / 著 太田出版

8 竹原 純悦 氏（たけはら じゅんえつ）

株式会社紫波フルーツパーク取締役専務

「利用者は、商品に魅力があれば購入し、魅力がなければ購入しない」が信条。
自社ブランド「自園自醸ワイン紫波」が好評。

『 胡堂百話 』 野村 胡堂 / 著 中央公論社

9 瀬川 勲 氏（せがわ いさお）

株式会社共同園芸代表取締役 / （社）岩手県造園組合前会長

1944 年紫波町生まれ。経営する「紫波 View Garden」は、あづまねエリアの観光スポットにもなっている。

『 文化よ興れ ～紫波町立紫波第一中学校創立三十周年記念誌（紫波第一中学校校歌） 』

紫波第一中学校創立三十周年記念事業協賛会刊行部 / 編

10 根子 精郎 氏（ねこ せいろう）

藍染職人 ねこの染物屋

1954 年紫波町生まれ。工業高校デザイン科を卒業後、玩具研究所にて、おもちゃの企画、デザインに従事。帰省後、印刷関係の仕事を経て、手づくり村の「染屋たきうら」にて藍染を修行する。昨年、自宅を工房に改良し作品の創作を続ける。今年 4 月に開業し、天然藍染にこだわり、藍染教室や誂え物の受注を受けている。

『 古典落語文楽集 』 桂 文楽 / 著 筑摩書房

11 藤尾 良一 氏（ふじお りょういち）

陶芸家 茜焼

1955 年紫波町生まれ。1985 年紫波焼大沼巖氏に師事。1989 年茜焼開窯、現在に至る。

『 かまぐれ往来 』 加藤 唐九郎 / 著 新潮社

12 黒崎 徹 氏（くろさき とおる）

陶芸家 愚黒窯 黒工房

1949年東京生まれ。1973年宇都宮大学中退。さまざまな職業を経て1984年益子焼の修行をする。宮沢賢治の精神に感銘し1994年紫波町に築窯。現在に至る。

『 雨ニモマケズ 』 宮沢賢治 /著 出版

13 金沢 英徳 氏（かなざわ ひでのり）

陶芸家 陶房金沢

1965年岩手県盛岡市生まれ。1991年岩手大学教育専攻科修了。大学時代に陶芸に魅力を感じ、益子焼窯元「大誠窯」にて5年間修業する。1996年紫波町に開窯、現在に至る。岩手大学教育学部芸術文化課程造形コース非常勤講師を務めている。

『 巨岩と花びら 』 舟越保武 /著 筑摩書房

14 石橋 愛子 氏（いしばし あいこ）

レザークラフト・裂織 プロフェッショナル・インストラクター

1938年宮古市生まれ。1957年宮古高校商業科卒業。1982年日本手芸普及協会レザークラフト部門プロフェッショナル取得し、鮭皮細工を始める。1993年紫波町へ転居し、鮭皮細工を続けていたが、鮭皮の入手が難しくなったため、裂織を始める。2004年から「ひまわり」で裂き織りの教室を開き現在に至る。2005年日本手芸普及協会手織り部門プロフェッショナル取得。2007年及び2011年に全国裂織協会主催の全国裂織フェスタにて入選。

『 母一オモニー 』 姜尚中 /著 集英社